

# 桂

かつら  
KATSURA

Vol.129 平成29年6月23日/北海道薬科大学広報部

統合特別号  
Vol.1

2018年4月、北海道薬科大学は北海道科学大学と統合し、「薬学部薬学科(仮称)」の設置を計画しています。(設置認可申請中)

# HUS NEWS LETTER

Hokkaido University of Science

北海道科学大学ニュースレター

Vol.35 / 2017 No.1 平成29年6月23日(第201号)

●工学部  
機械工学科/情報工学科/電気電子工学科  
建築学科/都市環境学科

●未来デザイン学部  
メディアデザイン学科/人間社会学科

●保健医療学部  
看護学科/理学療法学科/義肢装具学科  
臨床工学科/診療放射線学科

●短期大学部  
自動車工学科

統合特別号  
Vol.1

2018年4月、北海道薬科大学は北海道科学大学と統合し、「薬学部薬学科(仮称)」の設置を計画しています。(設置認可申請中)

contents

特集

## 平成28年度「学位記授与式」 平成29年度「入学宣誓式」

HPUな人々 / 北薬大×地域×学生 / HUS×HPU統合掲示板



# 手稲で育つ 5000の芽。

手稲を学びのフィールドに、  
前田キャンパスで学ぶ5000人もの若いパワー。  
学生たちの勢いと地域との融合は、  
まだ見ぬ手稲の新しい実りになる。

contents

特集

## 開学50周年イベント開催!

HUSな人々 / 北科大×地域×人 / HUS×HPU統合掲示板

50

北海道科学大学  
開学50周年

# 特集 開学50周年イベント開催!

北海道科学大学はこれからも「開かれた大学」を目指します。

2017年、おかげさまで北海道科学大学は、開学50周年を迎えました。

50周年を記念し、さまざまな記念事業を開催いたします。

北科大は、次の50年も手稲の、北海道の発展のために地域貢献を推進していきます。

**50th anniversary** 本学の学びを広く深く紹介する記念公開講座を実施。全15回の多彩なテーマにご期待ください!

## 開学50周年 記念公開講座

日時 平成29年5月から随時開催  
場所 北海道科学大学ほか

北海道科学大学50周年を記念し、北海道科学大学の12学科、短期大学部1学科、北海道薬科大学1学科及び初年時教育を担当する高等教育支援センターが各講座を担当する。記念公開講座を開催します。参加ご希望の方はTel又はE-mailにて教育研究推進課地域連携係までお申し込みください。

(Tel.011-676-8664 E-mail:chiiki@hus.ac.jp/お申し込みの際、①氏名 ②連絡先 ③希望講座日をお伝えください。)

### 学科別 全15回連続公開講座

日時	テーマ	場所	担当講師
6月20日(火) 15:00~16:30	北海道科学大学の スマートキャンパス計画	本学E303講義室	建築学科 魚住先生
7月5日(水) 15:00~16:30	3Dプリンターの現状と今後の進化	本学ロボティクス工房A	機械工学科 竹澤先生 見山先生
8月31日(木) 10:00~11:30	くすりを正しく使用するために	本学A110講義室	北海道薬科大学 町田先生
9月25日(月) 11:00~12:00	バリアフリーと ユニバーサルデザイン	本学E304講義室	都市環境学科 石田先生

以降も学科教員による公開講座を開催します。詳細は、北海道科学大学ホームページなどにてご確認ください。

## 北海道科学大学開学50周年事業 キックオフセレモニー【開催報告】

日時 4月5日(水)  
場所 北海道科学大学 中央棟(E棟)

今年度予定している50周年記念事業の皮切りとしてキックオフセレモニーを実施しました。多数の教職員のほか、本学と連携協定を締結している手稲区及び手稲区連合町内会連絡協議会関係者をお招きし、テープカットを行いました。当日は、読売新聞・北海道新聞(さっぽろ10区)による取材もありました。



### 今後の50周年記念行事

#### タイムカプセル公“懐” ガーデンパーティー

日時 8月11日(金・祝)11:00~14:30  
場所 北海道科学大学 中央棟(E棟)

1987年、開学20周年に合わせて図書館南側に埋められたタイムカプセルの公開セレモニーを開催。OBが所属するユニット手風琴のミニライブも予定。

#### 新タイムカプセル 封入セレモニー

日時 10月1日(日)  
場所 北海道科学大学(稲峰祭)

第50回大学祭(稲峰祭)のイベントの一つとして、次の世代に向けて、新たなタイムカプセルを構内に封入します。

#### 開学50周年 記念式典・祝賀会

日時 11月12日(日)  
場所 札幌パークホテル

開学50周年を記念したシンポジウム、式典・祝賀会を行います。シンポジウムは著名なゲストを迎えて行う予定です。

#### HUSキャンパス イルミネーション2017

日時 平成29年12月  
場所 北海道科学大学

開学50周年を祝い、中央棟前のプロムナードがイルミネーションで彩られます。新しいキャンパスと、煌めくイルミネーションの共演をお楽しみください。

大学の知を地域へ発信する  
研究シーズ展示イベント

北海道各地で  
全3回  
実施

## HUS LABO PRESENTATION

開学50年の研究・人を社会へ



▲初開催となった第1回HUS LABO札幌会場

「開学50年の研究・人を社会へ」をコンセプトに、大学が持つさまざまな研究成果を地域の方にご紹介する「HUS LABO」。初開催となる第1回は、6月10日(土)・11日(日)の2日間、札幌駅前通地下歩行空間(チ・カ・ホ)で行われました。会場では「あたま元気」で過ごすために~老熟という生き方~を題材に、看護学科の林裕子教授によるミニ公開講座を実施。この講座は、以前本学を会場として実施した際に、満席となった人気のテーマをベースに再編集したものです。座席はすぐに埋まり、参加者の皆さんは熱心に耳を傾けていました。

さらに会場では、認知症を早期発見する「あたま元気チェック」テストや、最新システムを使った「かんたん姿勢分析コーナー」なども設置され、多くの市民の関心を集めていました。「HUS LABO」は、函館会場(詳細は下記)、旭川会場(日時未定)でも開催予定。お近くにお越しの際は、是非ご参加ください。

## 学内で人気の講座が チ・カ・ホに登場! ~札幌会場 開催報告~

「開学50年の研究・人を社会へ」をコンセプトに、大学が持つさまざまな研究成果を地域の方にご紹介する「HUS LABO」。初開催となる第1回は、6月10日(土)・11日(日)の2日間、札幌駅前通地下歩行空間(チ・カ・ホ)で行われました。会場では「あたま元気」で過ごすために~老熟という生き方~を題材に、看護学科の林裕子教授によるミニ公開講座を実施。この講座は、以前本学を会場として実施した際に、満席となった人気のテーマをベースに再編集したものです。座席はすぐに埋まり、参加者の皆さんは熱心に耳を傾けていました。

さらに会場では、認知症を早期発見する「あたま元気チェック」テストや、最新システムを使った「かんたん姿勢分析コーナー」なども設置され、多くの市民の関心を集めていました。「HUS LABO」は、函館会場(詳細は下記)、旭川会場(日時未定)でも開催予定。お近くにお越しの際は、是非ご参加ください。



▲ミニ公開講座や、かんたん姿勢分析コーナーなど、年代を問わずさまざまな方が楽しんで頂けるブースを展開

▲本学のことを詳しく知って頂けるようパネルやタブレットも設置

## HUS LABO

### 今回は「函館開催」!

日時 10月28日(土)・29日(日)10:00~16:00  
場所 函館蔦屋書店  
参加費 無料

本学教員の研究をパネルなどでわかりやすくご紹介するほか、理学療法学科の井野拓実助教によるミニ公開講座を実施します。



子どもたちの研究心を育てませんか?  
親子でご参加ください!



## 科学“大”実験ブース

日時 7月9日(日)10:00~16:00  
場所 札幌市青少年科学館 特別展示室  
入館料 中学生まで無料 / 大人700円

科学やものづくりに興味を持ってもらうため、本学の先生たちが趣向を凝らした3ブースを展開!工作ブース、実験ブース、トレーニングブースの3エリアで楽しい体験型プログラムを実施します。是非ご家族でお越しください。

# HUS 人々

北海道科学大学を  
さまざまな視点からご紹介する  
「HUS 人々」。  
教員、在学生、OBOGの声から、  
大学の魅力をお伝えします。

## 北科大の 研究者たち



氏名	小谷 彰宏 先生
学部学科名	未来デザイン学部 メディアデザイン学科
学位	修士(芸術)
研究分野	芸術学、デザイン学、情報フロンティア
趣味	映画チラシコレクション



手稲の好きなおとこ

自然とほほほの都会が共存しているところ。

### Q1 先生の研究内容について教えてください。

リアルイラストや8ミリフィルム撮影のコマ撮アニメ、抽象絵画に野外彫刻と多様な現代アートを手がけ、たどり着いたのが映像表現とオブジェや空間を結びつけた「映像インスタレーション」の創作でした。風景の実写映像や写真、3DCGなどをプロジェクターで立体造形や壁面、あるいは空間に投影する作品で、記憶する仕組みや思い出す行為をテーマとしたアートの研究です。前任地では、ビジュアルプログラミングの活用で「インタラクティブ・メディア・アート」として地域イベントで発表し、市民楽しんでいただいていた。

### Q2 その分野に進んだきっかけを教えてください。

幼稚園の頃、カブトムシやクワガタムシなど昆虫が大好きで、図鑑を見て輪郭を結構リアルに描いていました。周りから「上手いなー」と言われてましたよ。そこへ、イラスト的に光を描き込み、立体感を出した絵が描ける友達が現れ、もてはやされていることに初めての挫折感を味わった。その悔しさ？…かも！



▲学生時代に制作した野外彫刻「踊る地平線」と小谷先生 (第5回JAPAN生態国際芸術祭/1988年)

### Q3 先生の研究は、地域や社会にどのように還元されますか？

文化庁も「文化芸術創造都市の推進」で掲げているように、芸術の分野はアートやデザインの持つ創造性を地域振興などに活かしています。例えば、全国的に問題となっている「シャッター商店街」ですが、空き店舗の増加は地域の魅力の喪失で街の衰退へつながります。前任地では学生と、商店街でシャッターアートプロジェクトを立ち上げ、地域素材調査とデザインコンセプトをもとに立案し、その場所できしか体験できないAR(拡張現実)アプリを試作、それと連動したシャッターアートを制作しました。芸術の持つ創造力は文化の再創造を可能にするはずですよ。



# 手稲で働く QB・OG



工学部出身の岸さんと短期大学部出身の折出さん。  
お二人とも「日本除雪機製作所」に勤務し、冬の北海道にはなくてはならない「働くクルマ」を作っています。  
大学の魅力や仕事のやりがいを伺いました。



失敗を乗り越えて製品となり、  
お客様に喜んでもらった時に  
頑張ってたよかったですとやりがいを感じます。

2010年度 北海道工業大学(現:北海道科学大学) 工学部 機械システム工学科 卒業  
岸 直樹 さん(北海道尚志学園高校出身 現:北海道科学大学高校)  
株式会社 日本除雪機製作所 勤務

小さい頃から自動車が好きで、高校入学時は卒業後、北海道自動車短期大学(現:北海道科学大学短期大学部)に進学し自動車整備士になることを目指していました。高校3年生になり進路を考える際、先生から大学進学を勧められ、調べるうちに機械全般に興味を持ったのが、北海道工業大学(現:北海道科学大学)に進学した理由です。大学の一番の魅力は人だと思えます。大学生活では勉強はもちろん、大学祭や体育祭、部活動などでたくさんの人と関わる機会があります。4年間という時間を一緒に過ごしていく先生や友人は卒業した今でも交流があるほど大切な存在です。私たちの会社では、除雪車両をはじめさまざまな産業車両を製作しており、特に除雪分野ではロータリー除雪車や凍結防止剤散布車、軌道モーターカーが活躍しています。降雪地域にはなくてはならない車両の開発に携わることで、今後も北海道に貢献していきたいです。



在学時の岸さん:写真右

## 日本の道路に合った除雪車両を作り続け、 安全な冬の道路は私たちが支えています。

2011年度 北海道自動車短期大学(現:北海道科学大学短期大学部) 車体専攻科修了  
折出 響 さん(北海道尚志学園高校出身 現:北海道科学大学高校)  
株式会社 日本除雪機製作所 勤務

物心ついた頃から自動車に興味を持っていて、高校では自動車科に進み、そのまま自動車に携わる仕事をしたいと考えたので、より専門知識を身につけることができる自動車短期大学(現:北海道科学大学短期大学部)に進学しました。短大では、専門の勉強ができるのはもちろんのこと、同じ目標を持った仲間と学生生活を過ごせたのはとても楽しい思い出です。現在、職場では学生時代に学んだ塗装の知識を活かし、除雪車の全塗装をしています。冬の道路で活躍している自社の車両を見ると、やりがいを感じますね。会社ではロータリー除雪車や融雪剤散布車など、日本の積雪地の道路に欠かせない存在の車両を作っています。これからも日本の道路に合った除雪車両を作り続け、陰ながら安全な冬の道路は日本除雪機が支えていきたいと思っています。



## 北科大生に Q×A

幼稚園から大学まで手稲で暮らす高橋さん。  
看護師という、小さな頃からの夢を北科大で叶えます！

保健医療学部 看護学科 4年  
高橋 映梨花 さん  
(札幌稲雲高校出身)



### Q1. 小さい頃の夢は？

小さい頃から看護師になりたいと思っていました。小さい頃は体調を崩しやすくてよく病院に行っていて、看護師さんと関わることが多かったからかもしれません。

### Q2. 大学に入って驚いたこと。

教科書がiPadだったことと、一人1台ノートパソコンを持つことには驚きました。すごく近代的な大学だという印象が強かったです。

### Q3. 大学生生活のなかで、嬉しかった思い出。

実習の最終日に患者さんからありがとうと感謝の言葉を頂いたことです。技術も未熟な2年生の基礎実習で受け持った患者さんのことは、今後も忘れません。

### Q4. プライベートでチャレンジしたいこと。

料理です。料理教室に通って素敵な女性になれるように女子力を上げていきたいです(笑)。

### Q5. 大学の良さを一言でいうと？

看護学科だけでなく他の医療系や工学系の学科もあって、いろんな学科との交流ができ視野が広がるところ。

### Q6. 地域や社会に貢献するなら、何をします？

吹奏楽を通して手稲を盛り上げていきたいです。昨年ほどじょう祭りなどの吹奏楽のイベントに参加しました。

232もの  
研究が進行中!

Hokkaido University of Science x Community x People

# 北科大×地域×人

北海道科学大学には、工学部5学科、保健医療学部5学科、未来デザイン学部2学科、短期大学部1学科の計4学部・13学科があり、各学科の教員たちは今日も「暮らしをより良くするための研究」に向き合っています。大学で生まれるさまざまな研究が、どのように地域や社会、人とつながっているのかをご紹介します。

**地域** 地域や暮らしに関わりの深い話題 **急上昇** トレンド感のある話題や学科の注目トピックス **ひと** 頑張る教員や学生たちの様子を紹介

保健医療学部 理学療法学科

**地域** 消防庁消防研究センター、札幌市消防局と連携。火災時の避難を理学療法士の視点で検証。

認知症対応グループホームや介護老人保健施設、特別養護老人ホームなど介護を必要とする施設において、火災時の避難には介助を伴うことが多いです。理学療法学科の宮坂智哉教授は、消防庁消防研究センター、札幌市消防局と連携して、身体運動を扱う専門家の視点から介助を伴う避難プログラムの開発に携わっています。これまでにない理学療法士の研究分野を構築するとともに、火災時に限られた条件でより有効な避難の方法を開発することを目指しています。避難の遅れなどによって犠牲となる方を少しでも減らせるように研究を継続していく予定です。



短期大学部 自動車工学科

**急上昇** 実習で使用している最新機材をご紹介します。

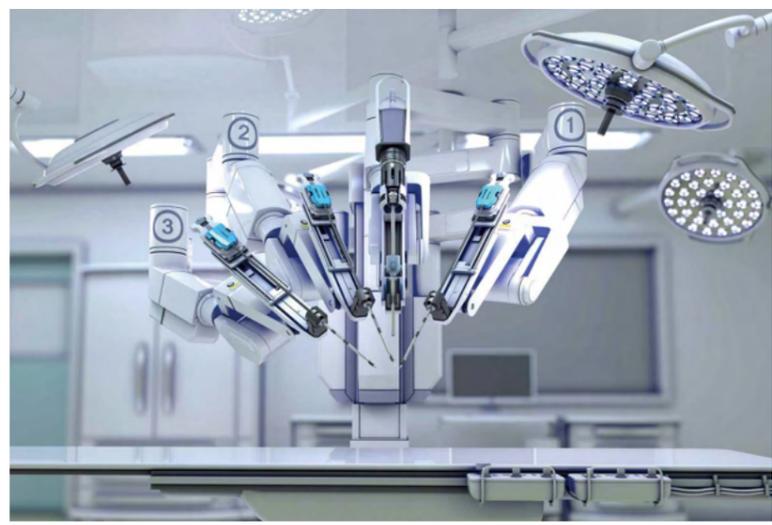
これまで自動車工学科には、2台のHV(ハイブリッドカー)と2台のEV(電気自動車)がありましたが、今年5月に導入した「ニッサンノートe-パワー(図1)」は、モーターで走行しエンジンは発電専用のシリーズ・ハイブリッドに分類されるHVです。ほかにも、排気ガスが非常にクリーンなコモンレール・ディーゼル・エンジンとして、「いすゞ製4JK1(図2)」と「トヨタ製2KD(図3)」の計7台を導入。さらに、小型車の主流である無段変速機として「日産製CVT(Continuously Variable Transmission)(図4)」を15台導入しました。これらの教材はすべて寄贈又は無償貸与を受けたものです。



保健医療学部 臨床工学科

**急上昇** 手術のサポートをロボットが行う時代。医学と工学はますます身近に。

臨床工学の世界では今、手術支援ロボットが注目されています。手術支援ロボットは従来の手術よりも精度の高い手術を可能とし、高度な医療提供が期待できます。しかし、このような高度な医療機器の設置には、電源容量の確保など電気設備の整備や、それを維持していくためのメンテナンスが不可欠です。臨床工学技士は医学と工学の知識の両方を有し、手術支援ロボットの導入からセッティングを行う上で、その役割は非常に大きいと言えます。今後ますますこのような高度化された医療用ロボットが導入されることが予想される中で、臨床工学技士の活躍の幅が広がっています。



工学部 建築学科

**地域** 建築学科の福田菜々講師が、2017年度日本建築学会奨励賞を受賞。

建築学科の福田講師による「音サインのコンテンツの差異が視覚障がい者の直進歩行に与える影響—積雪寒冷地における視覚障がい者の単独歩行に関する研究 その3—」が、2017年度日本建築学会奨励賞を受賞しました。

この研究は、視覚障がいのある歩行者にとって過酷な状況となる積雪期に着目し、冬場でも単独歩行ができる環境の創出を目指すものです。福田講師は、積雪時、誘導ブロックが効果を失うことから、スピーカーを一定間隔で下向きに設置するという独創的な手法を提案。問題提起の鋭さに加え、スピーカーからの直接音と反射音の耳への到達時間にズレがあることの解明や、積雪による吸音の影響を考慮していることなど、社会的課題に応えようとする意欲的な研究として、建築業界で最も権威ある学会から表彰されました。

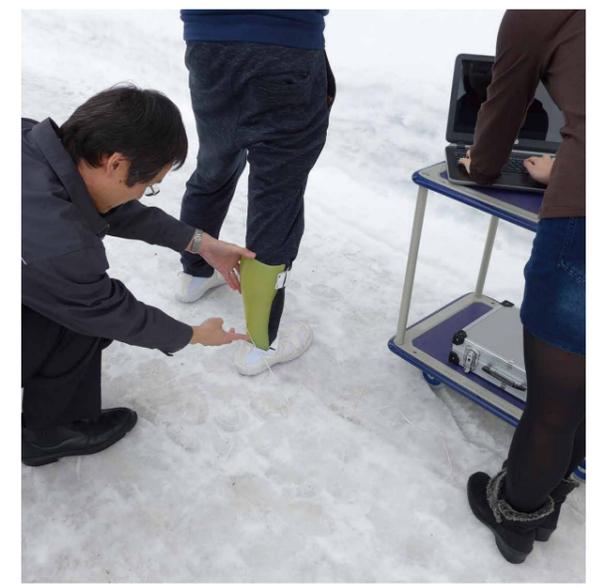
障がい者だけでなく、高齢者や子供といった多くの人々が快適に行動できるまちづくりの計画に貢献したいと話す福田講師。私たちの住む街をもっと住み良くするための研究が、今日も進められています。



▲冬季実験時の様子

保健医療学部 義肢装具学科

**地域** 寒冷地ならではの義肢装具を作るうえで、必要なこと。



北海道の冬は、気温が0度を下回ります。そのような寒冷地での義肢装具は、材料の性質も変わり、思わぬ事故を引き起こしてしまうこともあります。義肢装具学科では、装具などでよく使用するプラスチックの、極低温下での性質を明らかにする研究として実際に雪の中で使用したり、雪山の中に長期間放置したものの解析などを行っています。この研究を進めることで、北海道などの寒冷地で生活する障がい者の方に、より安全な装具を製作することができるようになります。

保健医療学部 看護学科

**地域** 地域の高齢者を元気に応援! 高齢者元気サポート。

看護学科では、理学療法学科及び情報工学科と協働し、地域に暮らす高齢者の方々に応援する健康プログラム「高齢者元気サポート」を、年2回開催しています。このプログラムでは、健康に関する講義が聴講できるほか、身体機能測定や、本学科の教員が考えたヘルシーな学食メニューなどが体験できます。継続して参加される方も多く、3月に開催された4回目のプログラムでは、参加者129名のうち、83名が継続での参加となりました。毎回多数の学生もスタッフとして参加しており、地域の高齢者の方々と触れ合う良い機会となっています。



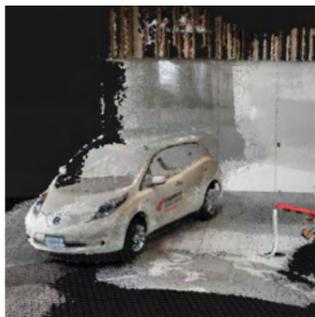


北科大×地域×人  
急上昇

工学部 情報工学科

### 現実空間に情報を映し出す！ AR・MR技術の応用研究が進んでいます！

昨年夏にリリースされたポケモンGOは世界中の人々を熱中させました。ゲームの中で使われたのが、仮想的なキャラクターと現実世界を融合させるAR(仮想現実)と呼ばれる技術です。現在はスマートフォンに搭載されたセンサやカメラを使い、実空間の距離や物体の大きさを把握することで、あたかもその場に存在するように仮想的な物体を表示させることが可能です。情報工学科では、ARやMR(複合現実)をエンターテインメント分野だけでなく、教育、医療、建築、観光などさまざまな分野に応用する研究を進めています。



▲3次元空間上にマッピングされた点群データ

北科大×地域×人  
ひと

工学部 電気電子工学科

### 試験対策から オモシロイ研究まで。 学びの幅が広い学科です。

2017年4月、新入生約80名が電気電子工学科に入学しました。理系には女子が少ない…?と言われることがありますが、今年度は3名の女子学生が入学し、先輩女子と毎日を楽しんでいます。近年、卒業研究として、「ヒトが感じる食品の味を評価するセンサやそのシステム開発」を進めています。一見、電気とは異なる分野と思われそうですが、生活に必須で多種多様な領域に利用される電気電子は、ヒトの感覚を代替するセンサづくりにも活躍しています。他にも学科では「第2種電気工事士上期試験向けの対策講座」などにも取り組んでおり、電気電子に必要な知識と技術を日々学んでいます。



北科大×地域×人  
地域

保健医療学部 診療放射線学科

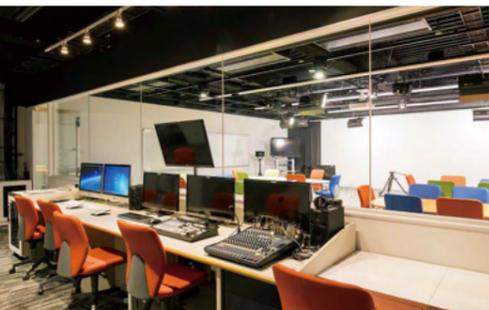
### 診療放射線技師の 業務拡大に伴い、 新カリキュラムを導入。



2014年に診療放射線技師法が改正され、「CTやMRI検査時の造影剤自動注入器を用いた造影剤投与、造影剤投与終了後の抜針や止血」が行えるなど、チーム医療推進の観点から診療放射線技師の業務が拡大されました。これに伴い学科カリキュラムの一部を見直し、教育体制を整備しました。

3年生が難関資格試験を突破。 TOPICS

2016年に本学科3年生10名が全国の合格率が30%未満の、国家資格「第1種放射線取扱主任者試験」を、同じく3年生3名が日本医療情報学会認定「医療情報技師能力検定試験」を見事突破し、大学から表彰を受けました。



北科大×地域×人  
急上昇

未来デザイン学部 メディアデザイン学科

### プロが監修した現場さながらの 撮影スタジオが、今春誕生！

2017年春に完成した中央棟(E棟)の3階にある「メディアスタジオ」は、メディアデザイン学科の客員教授を務める現役TVプロデューサーの設計・監修で作られた本格的な撮影スタジオです。プロ仕様のカメラ・音響機器、編集機器を備えた現場を学べるスタジオで「映像デザイン」の授業や「卒業研究」にて使用します。また、本学のライブストリーミング「Netオープンキャンパス」もこのスタジオから放送します。

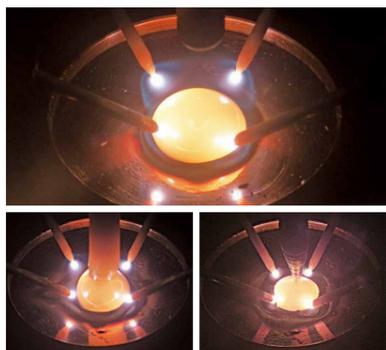


北科大×地域×人  
急上昇

工学部 機械工学科

### 高温環境に耐える材料開発のための 研究設備が充実。

機械工学科の「材料システム研究室」では、私たちの研究室でしか作製することができない「材料創製」に取り組んでいます。平成29年度の科研費[基盤研究(C)]に新規採択されたことから、作製した実験試料を大気中で高温にさらした後、すぐに冷却し、これを交互に行うことが可能な熱サイクル試験装置を導入する予定です。この装置は発電用ガスタービンや航空機用ジェットエンジンなどを想定した試験を行うために使用するもので、高温環境に耐える材料開発をするために、実験試料の作製から実機を想定した熱サイクル試験まで総合的な評価を実現する研究設備が整いつつあります。



▲テトラアーク式引上装置を用いた実験試料作製の流れ

北科大×地域×人  
地域

未来デザイン学部 人間社会学科

### 手稲区のマスコットキャラクター 「ていぬ」の活用委員会に 本学学生が参加！

手稲区区制20周年を迎えた平成21年に、手稲区に活力を与え、手稲区への愛着を深めることを目的として誕生した「ていぬ」くん。以来8年目を迎える「ていぬ」活用委員会では、人間社会学科の学生が副委員長を務め、毎年委員会への参加や「ていぬ」の有効活用について提言を行っています。北海道科学大学のマスコットキャラクター「かがくガオー」が誕生してからは、地域活動での「ていぬ」と「かがくガオー」の共演も増えて、ますます手稲区のまちづくりを盛り上げています。



北科大×地域×人  
地域

工学部 都市環境学科

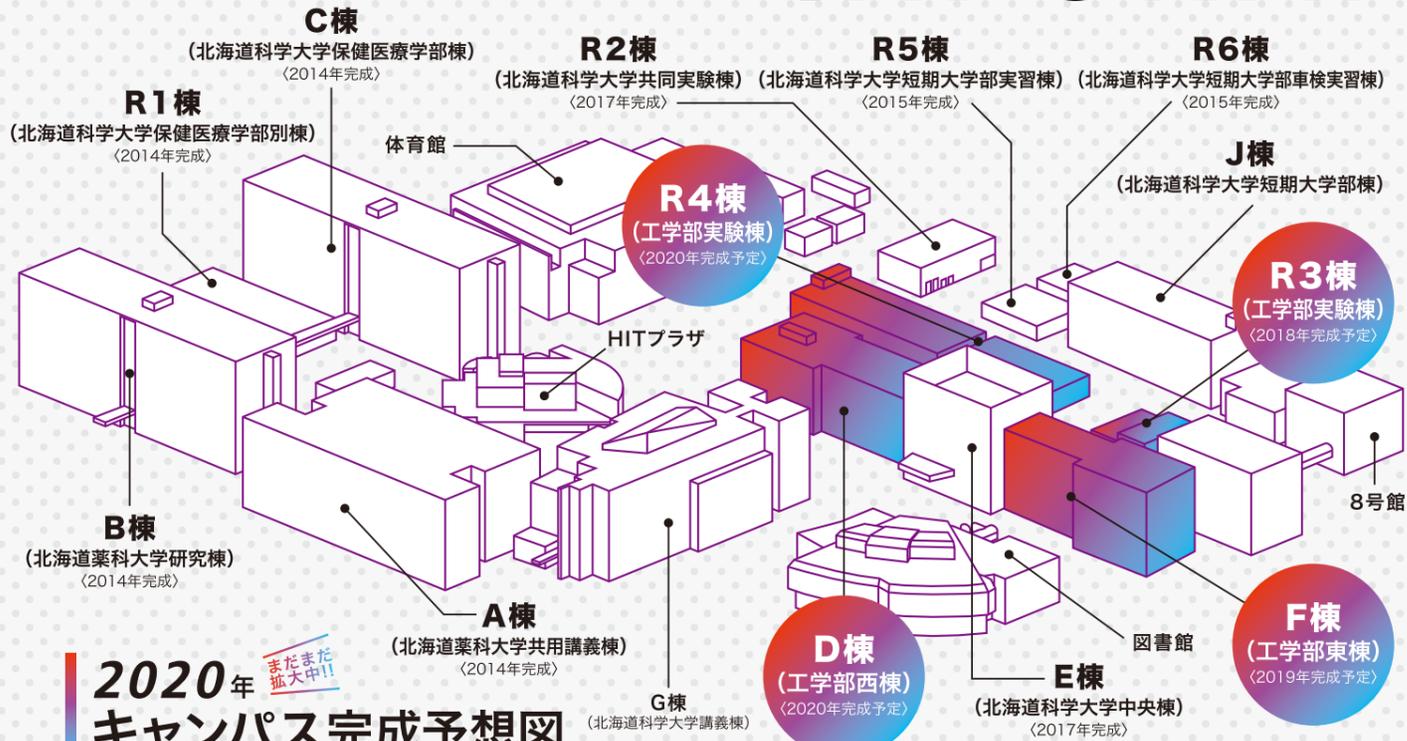
### 地域貢献ボランティア 「グラウンドまもり隊」が 今シーズンも始動！



今年で2年目となる「グラウンドまもり隊」は、ボランティア活動を通し喜びと達成感を感じることで、学生が大きく成長することを目的に企画されました。活動内容は、都市環境学科1~4年の学生とボランティア局の学生、総勢214名がグループに分かれ、手稲区にある小学校の内14校(全16校)でグラウンドのメンテナンスや運動会の手伝いなどを行うというものです。今年4月27日(木)から活動を開始。学生たちの熱心な活動が注目を集め、朝日新聞やHBCの「今日ドキ!」で活動の様子が紹介されました。

## 地域と成長する実学の拠点。

2013年に始まった新校舎棟の建設開始を皮切りに、大学名称の変更や、北海道薬科大学、北海道科学大学短期大学部の移転などキャンパスの整備を進めてきました。そしていよいよ来春、大学整備の集大成とも言える北海道科学大学と北海道薬科大学の統合を予定しています。



## 2020年 キャンパス完成予想図

※計画のため、変更する場合があります。

わたしたちの大学、見に来ませんか？

新しい大学を知る、年4回のチャンス！

# OPEN CAMPUS オープンキャンパス

模擬講義や模擬実習を通して学科の学びを知ったり、学内の施設を見学するキャンパスツアーなどを開催。大学の教員や在学生に直接話が聞けるので、大学のことがよくわかります！詳しくはホームページをご覧ください。



メリットがいっぱい！  
受験生に嬉しい新システム！

北海道初！  
完全インターネット  
出願スタート！！

北海道科学大学 NET出願



願書の取り寄せ不要

24時間出願・支払い可能

2回目以降の受験が無料

2017年6月から  
会員登録を開始します！

※詳しくは入試広報センター  
(Tel.0120-248-059)まで  
お問い合わせください。

# HUS HPU INFORMATION 統合 掲示板

薬学部 薬学科(仮称)\* (設置認可申請中)

平成30年度入試情報	
募集定員	180名
共通出願条件	入学後にたばこを吸わないことを確約できる者
入試制度	公募推薦入試(前期) 自己推薦入試 / 一般入試(前期・後期) 大学入試センター試験利用入試(前期・後期)

## 薬学部薬学科\*の状況について

現在、文部科学省に設置認可申請中です。設置認可申請の許可は、2017年8月末日予定となっています。

●学生募集要項等配布 / 2017年9月以降予定(設置認可申請許可後)

設置状況・募集要項配布等の詳細につきましては、本学ホームページにてご案内いたします。

また、北海道科学大学大学院に薬学研究科\*と保健医療学研究科\*を上記同様にて2018年4月設置予定です。(設置認可申請中)  
設置認可申請が許可となりましたら、本学ホームページにて、ご案内いたします。

※(仮称)名称等は、すべて予定であり変更になる場合があります。

2018年4月、北海道科学大学と  
北海道薬科大学が統合。  
北海道科学大学に薬学部薬学科\*を  
設置予定。

高齢化、過疎化などで社会構造が激変する時代、薬剤師はこれからの地域ぐるみの医療を担う重要な存在です。北海道科学大学では、実学系総合大学としての幅広い教育体制の構築と、教育環境をより一層充実させるため、同一法人設置校である北海道薬科大学と統合し、新たに薬学部薬学科\*を設置予定です。北海道薬科大学の教育が培ってきた専門性と、北海道科学大学での医療と工学、社会科学の連携による総合的な視点を生かして、地域社会に貢献する薬剤師の養成を目指します。



およそ5,000人が通う前田キャンパス。その最初の一步

## 平成30年度 学生募集要項(概要)

- 学生募集要項の一部を紹介します。募集人員、試験場、試験内容はホームページなどでご確認ください。
- このほかに「自己推薦入試」「外国人留学生入試」があります。詳しくは入試広報センター(Tel.0120-248-059)にお問い合わせください。

工学部	保健医療学部
機械工学科 / 情報工学科 電気電子工学科 / 建築学科 都市環境学科	看護学科 / 理学療法学科 義肢装具学科 / 臨床工学科 診療放射線学科
未来デザイン学部	短期大学部
メディアデザイン学科 人間社会学科	自動車工学科

	新ガリレオ入試(AO入試) 薬学部*(設置認可申請中)は対象外	公募推薦入試	一般入試	大学入試センター試験 利用入試
出願期間	平成29年 10月6日(金)~10月13日(金)	前期 平成29年 11月1日(水)~11月9日(木) 後期 平成30年 2月2日(金)~2月8日(木)	前期 平成30年 1月5日(金)~1月19日(金) 後期 平成30年 2月15日(木)~2月23日(金)	前期 平成30年 1月5日(金)~1月23日(火) 後期 平成30年 2月15日(木)~2月23日(金)
試験日	平成29年10月22日(日)	前期 平成29年11月19日(日) 後期 平成30年2月17日(土) 後期は、保健医療学部・ 薬学部*(設置認可申請中)は対象外	前期 平成30年 2月1日(木)・2月2日(金) どちらか1日、もしくは両日受験可能 後期 平成30年3月6日(火)	平成30年度 大学入試センター試験実施日 平成30年 1月13日(土)・1月14日(日) 大学入試センターで指定された 試験会場で受験してください

〈新規〉

基盤研究(B) 応用薬学系 薬剤学分野  
丁野 純男 教授  
ライフスタイルに発症起因する難治性肺疾患の  
征圧基盤：肺圧与型DDSがその扉を開く

基盤研究(C) 社会薬学系 薬事管理学分野  
櫻井 秀彦 教授  
医療・健康関連サービス財の遵守・継続消費行動の  
影響要因に関する実証的研究

基盤研究(C) 基礎薬学系 生命科学分野  
中田 章史 講師  
福島第一原発事故後のアカネズミの  
継世代影響評価と評価系の開発

基盤研究(C) 社会薬学系 薬事管理学分野  
岸本 桂子 准教授  
薬物治療の効率・安全性向上に寄与する  
薬局における患者の情報伝達促進の方策の確立

基盤研究(C) 応用薬学系 薬剤学分野  
高橋 夏子 講師  
食品成分による分子標的薬の  
リスク回避と免疫予測マーカーの探索

若手研究(B) 基礎薬学系 医薬化学分野  
三原 義広 講師  
微生物または酵素反応を導入した  
自律浮沈機能の構築と新規吸着剤の開発

〈継続〉

基盤研究(C) 基礎薬学系 生命科学分野  
前田 伸司 教授  
非同義置換一塩基多型を利用した  
結核菌機能因子の探索

若手研究(B) 応用薬学系 薬理学分野  
高栗 郷 准教授  
骨格筋における糖代謝調節に関わる  
ADAM17の制御機構と生理的意義の解明

基盤研究(C) 社会薬学系 地域医療薬学分野  
柳本 ひとみ 講師  
在宅医療における薬物療法モニタリング  
機能拡大に関する実証研究

若手研究(B) 応用薬学系 薬剤学分野  
戸上 紘平 講師  
病巣の肺胞構造制御に基づく  
難治性呼吸器疾患治療DDSの創出

挑戦的萌芽研究 応用薬学系 薬剤学分野  
丁野 純男 教授  
次世代イメージングとDDSの融合が織りなす  
動脈プラーク高精度検出法創製への挑戦

**平成29年度 科学研究費補助金**  
文部科学省及び日本学術振興会から、平成29年度科学研究費補助金の交付内定が通知されました。内定者及び研究課題名は次のとおりです。

**北薬会第26回卒業生・在学生  
合同懇話会を開催**

4月22日(土)に、北海道薬科大学同窓会(北薬会)主催の第26回卒業生・在学生合同懇話会が開催されました。参加者は調剤薬局、病院、医薬品卸、薬事・衛生関連企業及び製薬会社などに勤務する卒業生207名、在学生155名、教職員28名を数えました。卒業生207名の参加は過去最高であり、総勢390名もこれまでにない数字でした。

唐澤豪貴同窓会長と渡辺泰裕学長の挨拶で始まった会では、食事を楽しみながら、在学生が卒業生に薬剤師業務に関する具体的な体験談を積極的に聞いたり、就職活動のポイントなどについて熱心に質問したりしていました。合同懇話会は、佐藤久美就職部長の挨拶で、盛会のうちに終わりました。



▲懇談のようす



**病院・薬局・企業のための  
面接対策講座を開催**

4月20日(木)、21日(金)の2日間、5、6年生を対象に、病院・薬局・企業のための面接対策講座を開催しました。初日は企業側が面接を行う目的や種類、自己PRや面接試験のポイントについて、2日目はグループディスカッションや面接での立ち居振る舞いの仕方、面接官の評価ポイントなどについて、講師から説明を受けました。模擬面接では、講座参加者が交互に学生役、面接官役となって面接を実践し、講師からアドバイスを受けました。定員の40名を大幅に超える申し込みがあり、就職に対する学生の関心の高さがうかがえました。

**薬剤師生涯研修プログラム 平成29年度開催講座予定**

講座名	回数	開催日	内容	講師	受講定数	会場
薬剤師 アップデート 講座 (薬剤師教育研修会)	1 (121)	H29/5/26 (金)	薬剤師に求められるポリファーマシー対策 ～中小病院・慢性期病院の事例から～	知命堂病院 薬剤科長 武藤浩司	100	北海道薬科大学 サテライトキャンパス
	2 (122)	H29/7/21 (金)	ドイツの薬局に学ぶ地域社会に貢献できる 薬局づくり	Central Apotheke 開設者 局長 アッセンハイマー慶子	100	北海道薬科大学 サテライトキャンパス
	3 (123)	H29/9/2 (土)	「そうだったのか、在宅訪問」～患者さんにやさしい医療を目指した取り組みの紹介～	らいふ薬局 中村薫	50	釧路市内予定
	4 (124)	H29/11/10 (金)	腎機能を気にして調剤していますか？ ～腎機能チェックの必要性～	JR札幌病院 薬剤科 長谷川 功	100	北海道薬科大学 サテライトキャンパス
薬剤師 スキルアップ 講座	1	H29/7/23 (日)	薬剤師のためのフィジカル・アセスメント ～褥瘡外用療法知識と技術(ベッド実習を含め)～	上越地域医療センター病院 薬局長 宮川哲也 北海道薬科大学 准教授 坂東勉 北海道薬科大学 講師 伊東佳美 北海道薬科大学 教授 早勢伸正	20	北海道薬科大学
	2	H29/10/15 (日)	フィジカルアセスメントと症例検討 ～医薬連携のためのパスポート「バイタルサイン測定」～	国際医療福祉大学 医学部 教授 石川和信 北海道薬科大学 教授 加納誠一朗 北海道薬科大学 准教授 坂東勉 北海道薬科大学 講師 藤本哲也 北海道薬科大学 教授 早勢伸正	20	北海道薬科大学
薬剤師 スキルアップ 講座 特定テーマ 連続講座 「臨床推論」	1	H29/8/20 (日)	プロブレムリスト	中村記念南病院 薬剤部 主任 山田和範 チューター4～5名	20	北海道薬科大学 サテライトキャンパス
	2	H29/10/22 (日)	疾患の想起	手稲仁会病院 総合内科 主任医長 松坂俊 チューター4～5名	20	北海道薬科大学 サテライトキャンパス
	3	H29/11/26 (日)	副作用推論	昭和大学 薬学部 病院薬剤学講座 助教 北原加奈之 チューター4～5名	20	北海道薬科大学 サテライトキャンパス
	4	H30/1/21 (日)	臨床推論の実践	一般社団法人 Sapporo Medical Academy 代表理事 岸田直樹 チューター4～5名	20	北海道薬科大学 サテライトキャンパス
病態・薬物治療 フォローアップ講座			チューター 山田和範(中村記念南病院)、藤居賢(札幌医科大学附属病院)、山崎洋平(手稲仁会病院)、國本雄介(札幌医科大学附属病院)、渡辺浩彰(北海道整形外科記念病院)、富田昌志(札幌西円山病院)、藤本万理恵(北海道医療センター)			
			開催予定日: 10/14(土)、11/11(土)、12/2(土)、1/13(土)、2/3(土)、3/3(土) 時間: 15:30～18:30 テーマはホームページや生涯学習センターの講座案内にて、8月頃にご案内できる予定です。	50	北海道薬科大学 サテライトキャンパス	

北海道薬科大学は平成20年度より薬剤師生涯研修プロバイダーとしての認定を受けています。平成29年度の研修プログラムが上記のとおり決まりました。研修プログラムは、薬剤師業務に関わるタイムリーなテーマを扱う「アップデート講座」、薬剤師が必要とする基本的な技能を実習・演習形式で学ぶ「スキルアップ講座」、疾病ごとの病態生理と薬物治療を系統的に学ぶ「フォローアップ講座」からなり、薬剤師実務を支援する内容となっています。本年度の「スキルアップ講座」には、特定テーマ連続講座「臨床推論」を開催します。詳細については本学生涯センターのホームページ(<http://www.hokuyakudai.ac.jp/shogaikenshu/>)をご参照ください。

**「北海道薬学実務実習  
フォーラム2017」を開催**

4月23日(日)に、北海道地区調整機構、北海道薬剤師会、北海道病院薬剤師会、札幌医科大学及び道内薬系3大学(北海道薬科大学、北海道大学薬学部、北海道医療薬学薬学部)の共催で、「北海道薬学実務実習フォーラム2017」を開催しました。本フォーラムは、6年制薬学部の実務実習の改善と整備を目的に、調整機構、受入施設及び大学が各々の取り組み内容を報告し、実りある実務実習の実現を目指すものです。今回は、文部科学省高等教育局医学教育課薬学教育専門官の前島一実氏に来札いただき、「薬学教育を取り巻く現状と課題」についてお話しいただきました。また、平成31年からの薬学実務実習に向けて行ったアンケート結果、実務実習の概要及びマッチングシステムの現状と課題などについて報告を行いました。総合討論では、実習施設からの質問、要望をもとに意見交換がなされました。



**本学留学制度により邱先生が来日**

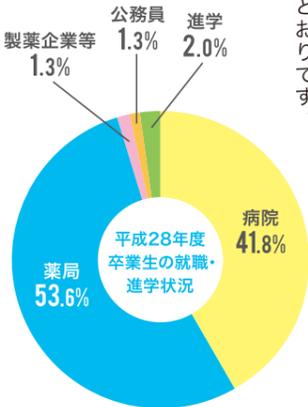
5月15日(月)に、学術交流協定締結施設である中国の黒竜江省第2病院より邱麗麗(邱麗麗)先生が研究員として来学しました。邱先生は9月末までの約5ヶ月間、基礎教育系自然科学分野の加納誠一朗教授の研究室において、「循環器疾患治療薬に関する研究」を行う予定です。



▲前列右から2人目より、村岡早苗准教授、加納誠一朗教授、邱麗麗先生、桜井光一教授

**平成28年度卒業生の就職・進学状況**

平成28年度卒業生の就職状況は、就職希望者に対して100%の就職率でした。就職先・進学状況についてはグラフのとおりです。



**本学教員が日本薬学会  
北海道支部より表彰**

5月20日(土)に、日本薬学会北海道支部の医療薬学貢献賞並びに奨励賞授与式が行われました。本学から、医療薬学貢献賞(教育分野)に社会薬学系 地域医療薬学分野の坂東勉准教授が、奨励賞に応用薬学系 薬理学分野の高栗郷准教授が受賞しました。また、本学卒業生(第29期生)である北海道薬科大学院薬学研究院の佐藤夕紀助教が奨励賞を受賞しました。



▲左より伊藤慎二教授、佐藤久美教授、高栗郷准教授、坂東勉准教授、渡辺泰裕学長

**同日開催された  
日本薬学会北海道支部  
第144回例会受賞講演の演題**

- 【坂東勉准教授】  
地域医療における多職種連携教育の試み
- 【高栗郷准教授】  
インスリンシグナル伝達に対するサイトカインの多様な作用
- 【佐藤夕紀助教】  
低吸収性を示す機能性食品成分の消化管吸収機構の解明と吸収特性を考慮した製剤

# 北薬大×地域×学生

北海道薬科大学は、「地域社会の要請に応え、質の高い薬剤師を養成、輩出することによって北海道の医療の発展に貢献すること」を建学の精神としております。本学と地域の関わりや日々勉学に励む学生の様子を紹介いたします。

## 夕張市で、3大学5学科合同体験学習「多学部生と学ぶ！実践 地域医療」を実施

3月6日(月)から8日(水)までの3日間、北海道薬科大学の薬学科、北海道科学大学の看護学科、臨床工学科及び天使大学の看護学科、栄養学科の3大学5学科での合同体験学習を、夕張市で実施しました(担当:北海道薬科大学 坂東勉准教授、伊東佳美講師)。参加学生は北海道薬科大学10名、北海道科学大学の保健医療学部の看護学科7名、臨床工学科5名、天使大学の看護学科1名、栄養学科2名の合計25名でした。

体験学習の内容は医師の訪問診療、薬剤師の訪問薬剤管理指導、看護師の訪問看護、栄養士の食事指導の業務体験の他、作業療法士や臨床工学技士の業務も学びました。

夕張市で多学科での合同体験学習を行うことにより、参加した学生たちは北海道の地域医療の現状の理解を深め、多職種連携の重要性を実際に体験し、多職種の中での自らの役割や責任を明確に意識しました。



▲薬剤師の訪問薬剤管理指導のようす

この自由科目セミナーは、北海道科学大学の看護学科・臨床工学科、天使大学の看護学科、栄養学科と合同で行われ、医師、薬剤師、看護師とともに患者さんの居宅を訪問し、在宅医療の現場を実際に体験します。そして、その訪問実習を通して、医師、薬剤師のみならず、看護師、臨床工学技士、栄養士が、それぞれどのような役割を担い、多職種連携が行われるのかを理解できるのが特徴です。

私は今回のセミナーで、「患者一人ひとりの生きがいを尊重することが在宅医療では大切だと改めて感じました。そして、在宅医療に携わるには、患者一人ひとりに対応できる臨機応変なコミュニケーション力や、患者との信頼関係が必要不可欠だと実感しました。また、他学部生との交流から、新たな友人関係を築き、在宅医療に携わる薬剤師以外の医療職の視点や考え方を深く理解することができました。4年生は臨床系の授業が増えるとともに、OSCEに向

夕張での春休み 4年 須佐 紳之介

私は、3年生の春休みに、二日間の日程で自由科目セミナー「多学部生と学ぶ！実践 地域医療」に参加しました。2年生の夏にも参加したので、今回が二回目の参加でした。2年生の夏に夕張に行った時には、「在宅医療とは何か？」を詳しく学ぶことができませんでした。しかし、薬の知識を一切学んでいなかったため、訪問実習でも話が理解できず、グループワークにもうまく参加できなかったことを今でも覚えています。その経験を通して、「もっとしっかり勉強しなければ、使える薬剤師にはなれない」と思い、普段から少しずつ、薬について勉強するようになりました。今回は、3年次に勉強した薬学的知識が、臨床でどのように応用されているかを自分の目で確かめるとともに、多職種連携についてより深く学びたかったため、もう一度夕張へ行くことを決意しました。

けた調剤・服薬指導実習が始まるため、現場での実践力がより鍛えられる一年になるでしょう。

「春休み」という新たな一年のスタート地点で、このような貴重なセミナーに参加できて、本当に良かったと思っています。

## 平成29年度SDA(安全運転者の会)総会及び交通安全講習会を開催

4月20日(木)に、平成29年度SDA(Safety-minded Drivers' Association 北海道薬科大学安全運転者の会)総会及び交通安全講習会が開催され、153名の学生と教職員が参加しました。

総会は現SDA会長の後藤佑太さん(4年生)の司会で進められ、本年度の会長として後藤さんが再任されました。平成28年度決算と平成29年度予算が承認された後、「平成29年度100日間セーフティラリー」の紹介と参加申込案内が行われました。



▲交通安全講習会のようす

## 平成29年度新入生対象講演会を開催

4月22日(土)に、新入生対象講演会を開催しました。本講演会は必修科目「薬学生入門」の大区分2「健康への価値観を高める」の一環として実施されました。

第一部では、「喫煙と健康被害について」の演題で、山形県天童市のおいのもり調剤薬局の加藤淳先生に講演していただきました。加藤先生は「選択」というキーワードを掲げられた上で、喫煙による健康被害、禁煙指導と薬剤師の関わりについて、音声や動画を交えてお話しください。時折学生の笑いを誘うわかりやすい講演となりました。第二部の講演は、北海道警察の波岸史明警部による「薬物乱用防止について」でした。有名俳優を起用した啓発ビデオの映像を視聴し、波岸警部ご自身の手に汗を握る現場体験に耳を傾けながら、新入生たちは危険ドラッグの恐ろしさを心に深く刻みこみました。講演後、講演内容を踏まえて、新入生たちは自分の感想と薬学生である自分にとっての意義を各自レポートにまとめました。

## 平成29年度就職相談会を開催

4月22日(土)に、共用講義棟(A棟)の講義室に企業ブースを設置し、北海道内外の病院(118)、薬局(103)、製薬企業・医薬品卸・行政機関など(17)、計238企業の採用担当者の参加のもと、就職相談会を開催しました。

12時よりA106講義室での渡辺泰裕学長、佐藤久美就職部長の参加企業への挨拶から始まり、12時30分から15時30分まで企業ブースにおいて学生との個別面談が行われました。学生は採用担当者から職務内容、採用条件、就職試験や勤務地などの情報を収集しました。

相談会には6年生195名が参加し、また、キャリア教育の一環として5年生142名、4年生27名、3年生2名が参加しました。今年も5年生の参加が多く、早い時期から将来像を見据えた活動が目立ちました。



▲就職相談会のようす

## 平成29年度桂青会役員委嘱状交付式を挙行

5月15日(月)に、平成29年度桂青会役員委嘱状交付式が行われ、桂青会会長である渡辺泰裕学長から、桂青会委員長、各局長、桂青会監査員に委嘱状が手渡されました。

引き続き、会長、副会長(学生部長)、学生部主任、学生課職員、新旧桂青会役員が参加する懇親会を開催しました。新委員長、各局の新局長は挨拶の場において、これからの桂青会活動について抱負を述べました。交付式を温かく見守っていた各局の旧局長は、1年間を振り返って自身の想いを述べるとともに、今後の桂青会活動の更なる発展を新役員に託しました。



▲平成29年度桂青会役員

<b>委員長</b> 山本辰暉(3年)	<b>【大学祭企画局】</b>	<b>【クラブ局】</b>	<b>【障がい者支援局】</b>
<b>副委員長</b> 小林祐太(2年)	<b>局長</b> 宮島宏季(3年)	<b>局長</b> 中野真希(3年)	<b>局長</b> 高橋怜央奈(4年)
<b>書記</b> 佐藤真由子(3年)	<b>副局長</b> 鈴木大智(3年)	<b>副局長</b> 山田佳育(3年)	<b>副局長</b> 西村有未(3年)
<b>会計</b> 伊藤雅広(2年)	<b>会計</b> 阿部良祐(2年)	<b>会計</b> 村上えり(3年)	<b>会計</b> 吉田悠華(2年)
<b>監査</b> 秋本琴音(1年)	<b>【体育大会企画局】</b>	<b>【地域連携局】</b>	<b>【薬物乱用防止局】</b>
	<b>局長</b> 森江勇作(4年)	<b>局長</b> 田上雄也(3年)	<b>局長</b> 皆木優門(3年)
	<b>副局長</b> 谷川夢(4年)	<b>副局長</b> 田中翔也(2年)	<b>副局長</b> 早坂麻依(3年)
	<b>会計</b> 染谷冬輝(1年)	<b>会計</b> 野々村美咲(3年)	<b>会計</b> 今井裕也(2年)

## 本学大学院研究奨励生、学校法人北海道科学大学奨励生、本学奨励生が決定

平成29年度の本学の各奨励生が決定し、5月15日(月)に証書授与式を行いました。

大学院博士課程に在籍する7名には、研究奨励金としてそれぞれ45万円を給付しました。学部においては、前年度に優秀な成績を収めた2~6年生のうち、各学年上位4名に対し学校法人北海道科学大学奨励生としてそれぞれ24万円を、それに続く上位各10名に対し本学奨励生としてそれぞれ12万円を給付しました。

なお、学部1年生の奨励生は10月頃に決定する予定です。



▲大学院研究奨励生



▲学校法人北海道科学大学奨励生



▲北海道薬科大学奨励生

# HPUな人々

北海道薬科大学をさまざまな視点から紹介する「HPUな人々」。在学生の体験談や教員、手稲近郊で活躍する卒業生などを紹介します。

## 新入生二泊オリエンテーションを開催

4月10日(月)、11日(火)にガトーキングダムサッポロにおいて、新入生を対象とした二泊オリエンテーションを開催しました。本行事は1年次の必修科目「薬学生入門」の大区分1「大学生活におけるコミュニケーションの形成」として開講するもので、新入生がクラス担任や学生同士との親睦を深めるとともに、これから始まる大学生活への不安を和らげ、スムーズに大学生活に入れるようになることを目的としています。

今年で9年目を迎える本行事は、今回も2〜6年の学部生24名のファシリテーターが中心となって進められました。往きのバスの中では緊張気味だった新入生も、ファシリテーターや担任教員のサポートによって徐々に表情も和らぎ、グループワークでの対話も進みました。夕食時には「名刺交換会」が行われ、自作の名刺を交換することで、新入生たちは自分のクラス以外の学生やクラス担任以外の教員と知り合う機会を得ることができました。夕食後に設けられた「先輩と語るタイム」では、大学の勉強や部活動をはじめ、大学生活に関する新入生の率直な疑問にファシリテーターが親身になって答えていました。2日目は、「理想の薬剤師」「充実した大学生活」というテーマのもとにアイデアを出し合うワークが行われ、新入生たちは自分の意見を言い、他者の意見に耳を傾けるという経験をしました。



ファシリテーターがサポート



ファシリテーターが司会進行

2日目の最後のふり返りのワークでは、コミュニケーションの重要性や大学生活に対する期待などが語られました。参加した新入生からは、「最初は緊張したが、ファシリテーターや先生のおかげで楽しい2日間になった」「担任が話しやすい先生で、今後も相談できそう」といった感想が聞けました。

## 手稲で働くOB・OG

2010年度北海道薬科大学薬学部薬学科卒業  
鉄野麻美さん(北海道札幌手稲高校出身)  
手稲漢仁会病院 薬剤部 勤務

### Q1. この道を目指したきっかけは?

父が薬剤師だったこともあり、物心ついた頃から薬剤師を目指すようになりました。小さな頃から憧れの職業でした。

### Q2. 仕事のやりがい。

私の担当する病棟薬剤師は、患者さんと毎日向き合いながら

## 北薬大の教員紹介

氏名	三原 義広 先生
学部学科名	薬学部 薬学科 基礎薬学系 医薬化学分野
学位	博士(環境科学)
研究分野	環境修復学、水質や植物の成分分析
趣味	山歩き、バックパッカー、もちろん実験も!



手稲の好きなところ

キャンパスから眺める手稲山の美しさに癒されます。

仕事をすることが出来ます。患者さんに継続して寄り添うことで、笑顔に出会える機会も多く、私の励みになっています。また、自分の知識や意見が治療方針に生かされる機会もあります。

### Q3. 仕事を通じて、どのように地域や社会に貢献していきたいですか?

平日頃、意識していることは、患者さんにとって薬剤師をもっと身近な存在に感じていただけたらいいということです。今は「かかりつけ薬剤師」という言葉も生まれているように、認知されることが地域貢献の一助になるのではと考えています。

### 先生の研究内容について

水環境中に存在する汚染物質を除去したり、汚染物質の濃度を計測したりできる水質浄化材料の開発、また白樺樹液の抗酸化活性成分の分析と生活習慣病予防効果の検討の二つを研究しています。

### 先生の研究は、地域や社会にどう還元されますか?

天然素材を用いた環境修復は、植物や微生物などの多様な機能を利用するという点で、誰もが取り扱えやすく経済的です。一つの技術をすり合わせることで農地や工業からの排水処理や水の浄化が容易になれば、世界中で問題となっている水不足の軽減にも貢献できるでしょう。白樺樹液の研究では企業や研究所と連携しながら、抗老化や生活習慣病の改善に効果のある新しい機能性商品を開発し、北海道の地域振興又は新産業の創出事業として発展させたいです。



趣味の山歩きを楽しむ三原先生

## ハワイ語学研修を終えて 4年 櫻 峻 加 哉

日本を出発し、約8時間のフライトを経てハワイに着きました。飛行機の中では、緊張していたのが眠ることができなかったのですが、少しでも耳を英語にならすために映画を見て過ごしていました。ハワイに到着すると、3月とは思えない気温の高さや見慣れない植物などによってすぐに海外にきたと実感することができました。出発前はハワイでの生活や英語での会話に不安を感じていましたが、久しぶりの海外で気持ちが高揚し、そんな不安は些細なことになりました。

ハワイ大学での授業は、Rob先生がすべて英語で行いました。Rob先生の英語は、とても聞きやすく、簡単な単語で話してくれていたため、深く理解することができました。しかし、授業中にRob先生が「Don't be shy」といって言ったことが強く記憶に残っています。「より積極的に発言できていたら」と少し後悔しています。授業内容は、ハワイに関することが多く、知らないことばかりだったので、とても貴重な時間となりました。特に印象的だったのはハワイ語に関する授業です。ハワイ語を使うアルファベットは12種類で構成されているのです。そのため、英語とは全くスペルリングが違い、とても新鮮に感じました。例えば、ショッピングモールで有名な「ALAMOANA」がありますが、「ALA」は「道」、「MOANA」は「海」という意味があり、「ALAMOANA」で「海の道」という意味になります。ハワイの地名や道の名前はハワイ語が多いので、少し勉強していくとまた違う楽しみ方ができるのではと思います。また、週に2回ハワイ大学の学生と交流するインターチェンジが授業の一環としてありました。インターチェンジでの会話は、Rob先生のような優しい英語ではなく、聞き取ることが少し難しかったですが、生きた英語を体験できるよい機会となりました。最初は緊張していたこともあり、うまく発言することができませんでした。回数を重ねることに発言回数が増え、いくつかを実感でき、そのことが英語に対する自信につながりました。

病院・薬局見学では、アメリカの薬剤師について知ることができました。病院では、薬剤師の監視の下で働くテクニシヤンの業務を見学しました。彼らの主な業務は調剤であり、調剤した処方薬を薬剤師が確認し、患者に投薬します。テクニシヤンになるには、高校の卒業と教育プログラムの修了が求められるため、薬剤師の資格は必要ないそうです。これが日本の病院と大きく違うことであり、薬剤師以外

外が調剤していることに驚きました。薬局では、日本の薬局との業務の違いについて学ぶことができました。アメリカでは、体調を崩すと病院よりも先に薬局へ行くそうです。薬局で薬剤師が相談を受け、病状を判断して適切な薬を処方したり病院に行くことを勧めたりします。患者の希望があれば、医師とテレビ電話をして診断してもらい、医師の判断のもと薬剤師が薬を処方することもありますが、また、アメリカの薬局では、薬剤師による予防接種の実施もしているというのが驚きました。薬局に陳列されている薬を観察すると、同じ薬でも味の違うものや、色のついた薬が多く見られました。これは、様々な味のものを提供したり、おいしそうな色にすることによって、薬に対する抵抗を減らす目的があるそうです。実は、味覚に差があるためか、アメリカ人にとって「おいしい」とされる薬が日本人にとっては必ずしもおいしいとは限りませんでした。実際に飲んでみたピンク色の胃薬は、とてもおいしいとはいえない味でしたが、アメリカ人の間では色も味もよい人気の薬として知られているそうです。とても面白い発見でした。

今回の語学研修では、教わるばかりではなく、実践を通して自分で気づく点が多々ありました。その一つは、アクセントのとてもない重要さです。ハワイのファーストフード店では、飲み物を頼んでもストローが手渡されず、別の場所にあることが多いです。私はストローがどこにあるか見つけられなかったため店員に聞きまわりましたが、うまく意図が伝わらなませんでした。そのあとで発音を確認したところ、自分の思った位置とは違うところにある位置と違っていました。アクセントがあまりにアクセント一つ違うだけで伝わらないということをも身をもって体験できたため、これからの学習ではストローク程度で讀か



▲修了式後、Rob先生との集合写真

ないためにも正しい発音に心がけていきたいと思いました。勉強の話が多くなりましたが、色々な場所を訪れ、たくさんのお光も頂きました。ダイヤモンドヘッドという山の頂上から日の出を眺めたり、きれいな海でシュノーケリングをしたり、8メートルもある岩から海に飛び込んだり、もちろんショッピングもしたりとまだまだ魅力的な体験はありますが書ききれないためこのくらいにしておきます。

この語学研修は、勉強と自由時間がちょうどいいバランスで構成されているため、とても楽しく思い出に残るものになりました。もしこの語学研修プログラムに少しでも興味のある方は参加してほしいです。英語の得意不得意に関係なく、むしろ苦手を感じている人にご参加してほしいです。最初は不安を感じていましたが、帰るときは絶対に英語が好きになっていると思います。参加して後悔はしないと保証します。

最後に、この語学研修に携わってくれた加藤隆治先生、大野拓恵先生、今回のメンバーの皆さん、貴重な体験と楽しい思い出をありがとうございました。



▲ノースユアでの記念写真

## 平成29年度新入生歓迎会を開催

4月11日(火)に、共用講義棟(A棟)学生食堂(HUSTラス)において桂青会主催の新入生歓迎会を開催しました。

一泊オリエンテーションから大学に戻った新入生をHUSTラスに迎え入れ、桂青会クラブ局長の挨拶を皮切りに、各クラブの先輩たちが新入部員を獲得しようという趣向を凝らしたクラブ紹介を行いました。新入生と先輩達との交流が深まり、歓迎会は盛況のうちに終了しました。



# 特集

## 平成28年度「学位記授与式」 平成29年度「入学宣誓式」

北海道薬科大学は、前田キャンパスに移転し、3度目の春を迎えました。前田キャンパスで2年間過ごした6年生が卒業して、社会へ巣立ち、期待と不安の学生生活がスタートしました。

### 平成29年度 入学宣誓式

平成29年度の入学宣誓式を4月6日(木)に挙行し、薬学部薬学科219名、大学院薬学専攻博士課程の入学宣誓式を2名が入学しました。ここに、入学宣誓式での学長告辞の内容を掲載します。

告辞

厳しく長い冬も終わり、北国にもやっと春の訪れを感じられるようになりました。本日、平成二十九年度北海道薬科大学の学部及び大学院臨床薬学専攻博士課程の入学宣誓式を挙行するにあたり、お祝いの言葉を述べさせていただきます。

本日の式典に際しまして、ご多用のところ、御来賓として本学の設置母体である学校法人北海道科学大学の西理事長をはじめとする役員の方々、法人設置の北海道科学大学及び北海道科学大学短期大学の学長、北海道科学大学高等学校、北海道自動車学校の各校長、並びに北海道薬科薬剤師会の会長、北海道薬科大学同窓会及び父母後援会の各会長、本学名誉教授の皆さま、そして多くのご父母の皆さまにご列席をいただき、ご家族ともども皆さんの入学を祝福できることは、大変に喜ばしく、教職員一同を代表し心から歓迎いたします。今日からは、未来の薬剤師を目指し、大きな希望を胸に日々努力を重ねてください。皆さんには薬学部に入学することの意味を再確認するという意味で、先ほど「入学宣誓書」にサインをしていただきました。皆さんが宣誓した内容をこれからも忘れることなく、6年間を過ごして欲しいと思います。薬の専門家としての薬剤師には、医療職として責任があります。医療チームのメン

バーと協働し、薬を通して患者さんに、より良いケアを提供することが求められます。このことも6年間の教育課程の中でしっかり学んでください。

さて、わたしが大学に入学したのは、45年以上も昔のことです。振り返るに、わたしが入学した頃は大学紛争の真っ只中で、封鎖された教室では授業ができず、せつなく大学に行っても一つも授業がない日もありました。大学生活の目標や意義を見失いそうになったこともあったと記憶しています。今の日本の学生の皆さんは、恵まれた環境の中で学ぶことが保証されていますが、残念ながら、色々な調査では日本の学生が十分な学修をしているとは言い難いとの結果が出ています。日米の学生の自己学修時間の比較において、日本の学生の学修時間が明らかに少ないとされています。皆さんが学ぶ授業の大まかな計画を記したものを「シラバス」といいますが、今年度から本学のシラバスに事前学修・事後学修時間とその学修内容を記すようにしました。シラバスについては「授業」ごとに、担当する教員から説明されますが、シラバスに書かれた事前学修・事後学修時間を確保しながら、授業で「わからなかったこと」は、放置せず必ず理解するように努めてください。学習に対する責任は学習者自身にあると考え、知らないこと理解で



きないことの蓄積によって、将来的な不利益を被ることにならないようにしてください。自己学修に王道はないので、それぞれで工夫して必ず実行してください。

また、他の大学での調査ではありますが、卒業時の学修成果は、入学時の入試制度や入試結果とは相関がなく、1年終了時の学修到達度と関係しているという報告があります。この1年を大事にし、学修習慣を身につけて、成果をあげてください。大学内にはラーニングコミュニティをはじめとした学習スペースをできるだけ多く確保してあります。学習スペースを活用して友人と切磋琢磨しながら学んでください。また、大学の「薬学教育研究センター」は、皆さんへの修学支援を担当しており、学習相談室を設け、皆さんからの様々な相談に応じています。学習において困ったことがあれば、遠慮なく相談してください。

さて、高齢化と医療費の膨張が要因となって、皆さんが目指す薬剤師の仕事は大きく変わらうとしています。日本の医療は病院完結型から地域完結型、すなわち在宅へと向かっています。それに加え、軽症の患者さんであれば薬剤師に相談して、病院に行かなくても済むようにする制度も生まれています。患者のセルフメデイケーションは薬局の薬剤師さんが支えるという方向も明確になり、昨年には「セルフメデイケーション税制」といったものも生まれました。国、国民からの薬剤師への期待は大きく、それに応えることができる薬剤師に育つよう大学は皆さんを教育します。社会が期待する薬剤師に育ってください。

皆さんにはすでにお知らせしていることですが、北海道薬科大学は来年4月に北海道科学大学と発展的に統合し、北海道科学大学薬学部として再出発する予定です。現在、文部科学省に対して認可を申請しているところです。皆さんは北海道薬科大学としては、最後の入学生になります。北海道薬科大学は、これまで40年を超える歴史を刻んできましたが、これからは皆さんと一緒に新たな歴史を作っていくこととなります。皆さんは、新しい大学を創るという意欲と希望をもって、学生生活のスタートを切っていただきたいと思っています。皆さんの成長を楽しみにし、わたしの入学宣誓式の告辞といたします。

平成29年4月6日  
北海道薬科大学 学長 渡辺泰裕

### 平成28年度学位記授与式

3月9日(木)に平成28年度学位記授与式を札幌ガーデンパレスにおいて挙行し、大学院修士1名と学部卒業生に対し学位記を授与しました。学長告辞、来賓祝辞(北海道薬科薬剤師会竹内伸仁会長)、卒業生答辞(三浦綾華さん)の後、卒業生全員で社会へ巣立つ薬剤師として宣誓を行いました。

授与式終了後には立食形式の卒業祝賀パーティーを開催し、卒業生とご父母が参加しました。パーティーの開催にあたり、猪爪信夫副学長、菅野諒太桂青会委員長よりお祝いのご挨拶が贈られ、唐沢豪貴同窓会会長の乾杯でスタートし、会場はおおいに賑わいました。卒業生を代表して高橋雅也さんが挨拶の言葉を述べた後、渡辺一弘副学長による激励のことで、パーティーは盛会のうちに終了しました。



▲学位記授与式の様子

▲宣誓の様子

3月9日(木)の学位記授与式内で、「大和田賞」の授与式を行いました。大和田賞は故大和田榮治前学長からのご寄付により、平成24～29年度の6年間にわたり、卒業生の6年次の総合演習の成績上位者2名に対して各10万円の奨学奨励金を授与するものです。本年度は、高橋雅也さん、三浦綾華さんが受賞しました。



▲受賞した高橋雅也さん(右)と三浦綾華さん(左)

### 学長表彰

学業学術面において優れた評価を受けた、大学院薬学専攻臨床薬学専攻博士課程の村尾優さん、及び薬学部薬学科の三浦綾華さん、高橋雅也さん、鈴木生さんが学長表彰を受けました。また、スキー同好会2年生・現3年生の富田悠紀さんは、1月に開催された第72回北海道スキー選手権大会アルペン競技スラローム種目において3位に入賞し、2月に開催された第90回全日本学生スキー選手権大会(インカレ)アルペン競技大回転種目(女子2部)では見事優勝を果たして、本学の名誉を著しく高めたこと認められ、学長表彰の対象となりました。

学長表彰授与式は、村尾さん、三浦さん、高橋さん、鈴木さんの表彰を3月9日(木)の学位記授与式内で、富田さんの表彰を3月13日(月)学長室において行いました。授与式では、渡辺泰裕学長からそれぞれに表彰状と記念品が贈呈されました。



▲左から三浦綾華さん、高橋雅也さん、鈴木生さん



▲写真中央が富田悠紀さん

▲村尾優さん

### 学生部長表彰

日本薬学会北海道支部第143回例会(平成28年5月15日開催)において学生優秀ポスター賞を受賞した6年生久保貴司さん(現博士課程1年生)、笹森奈津美さん、5年生現6年生佐藤正和さん、また、第35回北海道学生基礎スキー技術選手権大会(平成29年3月14日～18日開催)において、男子個人戦で第2位に入賞した2年生(現3年生)の鈴木大智さんが、それぞれの業績が本学の名誉を著しく高めたこと認められ、学生部長表彰を受賞しました。学生部長表彰の授与式は、久保さんと笹森さんの表彰を3月9日(木)の学位記授与式終了後に、佐藤さんと鈴木さんの表彰を4月19日(水)に行いました。表彰者には、丹保好子学生部長から表彰状と記念品が贈呈されました。



▲久保貴司さん



▲佐藤正和さん



▲鈴木大智さん

### 博士学位を授与

大学院薬学専攻臨床薬学専攻博士課程の村尾優さんが本学の博士(薬学)を取得し、村尾さんには3月9日(木)に挙行した学位記授与式において授与しました。論文題目と概要は下記のとおりです。



▲村尾優さん

#### 論文題目 『培養細胞におけるエパルレストアット新規作用に関する研究』

エパルレストアット(EPS)は糖尿病性末梢神経障害に伴う痺れ感や疼痛を改善する医薬品として、使用されている。EPSの新たな有用性を見出すことを目的として、酸化ストレス及び重金属毒性に対するEPSの影響について検討した。EPSはカドミウムの細胞内取り込みに関わるトランスポーターの発現を抑制し、さらにカドミウムの細胞外への輸送排出を促進することにより、細胞内カドミウム量を減少させることを明らかにした。また、有害重金属の解毒タンパク質であるメタロチオネインの誘導を促進することも明らかにしている。これらの成果は、EPSがカドミウムの新たな解毒薬になり得るという重要な情報を提案するものと考えられる。